

## 6 カノコガイ

(アマオブネ科)

兵庫県ランク: 要注目

*Clithon faba*

環境省ランク: 指定なし

### 種の概要

紀伊半島以南に分布し、河口汽水域の転石地、コンクリート護岸、砂泥底などに生息する。殻長、殻幅とも10mm前後の球形。殻表面は弱い光沢があり、三角形、網目状、帯状、筋状、班状など様々な色班を有する。蓋の外面は全域がほぼ灰色または肌色に暗色の雲状班を有する。内唇縁の中程は弱く湾入しその上には明瞭な1歯を有し、この上下に小歯が配列する。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○	○			○

### 県内分布

洲本市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。洲本市の満潮時に海水が流入する小さな汽水池と、隣接する極小河川河口域で生息が確認されていた。しかし、2012年の池の埋め立てとともに河口域でも見られなくなり、現状では既知産地は存在しない。ただし、生息可能な環境が存在あるいは新たに形成されれば、周辺からの幼生漂着によって今後の生息は期待できる。

### 保護上の留意点

浅い汽水湖や同じ性状の浅い止水域、満潮時は海水中に没するが、干潮時は浅い流れの淡水流になる礫底の保全。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修

【執筆者】 川渕千尋